

公正な取引／お取引先との連携

事業活動を支えてくださるお取引先とは、公平な競争機会や公正な評価・選定を基盤に、相互の品質向上・安全性確保に努めています。

サプライヤーとの公正な取引を徹底

サントリーグループは、「企業行動規範」にお取引先との関係について明記し、社員に社会的な常識を逸脱した贈答品の授受や接待などを固く禁止しています。取引にあたっては「購買管理規定」や「取引先選定基準」に則り、各社に公平な競争機会を提供しています。同時に、各社の商品・サービスの品質や供給力、財務状況、安全確保、環境への取り組みなどを公正に評価し、取引先を選定あるいは取引継続の可否を判断しています。

安全確保や環境保全活動についても、お取引先の方々と連携し、積極的に取り組んでいます。

● 下請法に対応した経理システムを運用

「下請代金支払遅延等防止法(以下、下請法)」に対応した経理システムを構築・運用しています。原料・資材の発注段階で登録した支払条件などの情報をもとに、予定どおり支払手続がされていない場合に、管理者画面に警告が表示され、支払遅延などのトラブルを未然防止するものです。なお、2010年は「下請法」に抵触する法令違反はありませんでした。*

※2010年12月現在のサントリーの「下請法」適用取引先(仕入先)数は、原料部で47社(取引金額比率で約19%)、包材開発部で24社(取引金額比率で約2%)

● 取引先に電子手形を導入

2010年、ほとんどのお取引先に電子手形取引を導入しました。このしくみを導入することで、取引先での資金調達の多様化(早期資金化)に寄与します。また、下請法対象会社での支払条件対応も統一して行うことで、対応漏れリスクの低減を図っています。

CSRを考慮した取引のしくみづくりを推進

サントリーグループの「取引先選定基準」では、環境への配慮やコンプライアンスなどCSRに関わる事項にも言及しています。しかし、今後、調達における社会的責任をさらに明確にしていくためには、その具体的な内容を規定・基準として明文化していくことが必要です。

2010年はCSR調達推進のため、お取引先の活動を

CSRの観点から評価・選定する項目を整理するとともに、新たな規定の策定も検討するなど、しくみを整備しました。そのほか、2009年よりビールの主要原料であるホップの生産農家を経営支援し、原料の安定調達に取り組んでいます。



ビールの主原料であるホップの生産農家を支援

品質向上に向けた連携を強化

お取引先とサントリーグループ双方の品質向上・業務改善に向け、個々のお取引先との対話の機会を大切にしています。毎年1回の取引先評価と結果報告を行うほか、情報・意見交換は随時実施しています。また、個別の「品質会議」で品質向上などを協議することに加え、環境負荷低減やユニバーサルデザイン推進に向けた資材採用や共同開発も推進しています。



ウーロン茶畑の現地視察

● 事業活動に取引先の意見を反映

日常の取引でのやり取りに加えて、定期的な対話の機会を設けています。方針説明会、品質勉強会では、サントリーグループの考え方を説明し、お取引先にはその内容について、アンケートを通じて、理解の度合いや感想などを記入していただいています。アンケートの結果は十分に分析し、事業活動に反映しています。

安全で環境に配慮した物流の推進

輸配送業務を委託している物流協会社と連携して発足した「安全推進委員会」には、2010年末で60社250名が参加。安全確保・環境配慮・リスクマネジメントなどの取り組みを推進しています。

● 協力会社各社の安全推進を強化

委員会が制定した「物流安全5原則」を各社社員に周知徹底するとともに、委員会事務局※が各社の拠点を巡回して、安全策実施状況を点検しています。

※サントリービジネスエキスパート(株)物流部、サントリーロジスティクス(株)安全推進部のマネジャーおよび担当者で構成

● 安全推進大会で活動を共有

全国120拠点の責任者が一堂に会する「安全推進大会」を毎年開催しています。この大会では、アルコール検知器の全拠点配備はもとより、勉強会やコンテスト実施などによる安全教育の徹底や優れた事例の紹介を通じて情報を共有し、各社の取り組み強化につなげています。



第10回安全推進大会(2010年)



アルコール検知器の設置

● 協力会社の安全管理を推進

物流協力会社の安全管理体制を常に一定水準以上に保ち、継続的に改善していくため、国土交通省が主導している「安全性優良事業所」の認定取得を推進しています。

サントリーグループの物流協力会社は、輸配送事業所全83拠点中78拠点(2010年末)が認定を取得、認定取得率は94%に達しています。これはトラック運送

業界全体の取得率18%(2010年12月トラック協会調査)を大きく上回っています。

2008年からは対象範囲を直接業務委託会社から2次協力会社まで拡大し、輸配送の安全管理体制の強化を図っています。

● 協力会社の環境認証取得を推進

物流にともなう環境負荷の低減をめざし、「グリーン経営※」「ISO14001」や「エコステージ」などの認証取得を協力会社と推進しています。サントリーグループの物流協力会社では、2010年末までに全87拠点中89%にあたる77拠点がこれらの認証を取得。今後もさらに認証取得を支援していきます。また、「改正省エネ法」への対応として、物流協力会社の月別・車両別走行距離、燃料使用量、積載量などからCO₂排出量を算出、削減目標を策定して取り組んでいます。

※グリーン経営:国土交通省環境行動計画に基づいて設立された「交通エコロジー・モビリティ財団」が推進しているもの

● 災害時に備えて体制を整備

災害有事に備えて、災害伝言ダイヤル「171」の運用レベルを全拠点に定着させていくプロジェクトを、物流協力会社とともに展開しています。また、首都圏および近畿圏直下型地震発生時のアクションプランとして、「171」回線や衛星電話などを活用し、被災地に平時の拠点以外から「サントリー天然水」を緊急出荷する体制や、被災地以外にも輸送する体制を構築しています。

2010年

- CSR活動方針策定のためのしくみ整備
- 「安全性優良事業所」の認証、「グリーン経営」「ISO14001」「エコステージ」などの認証取得促進

2011年

- CSR調達推進プロジェクトの発足
- 物流における安全推進の継続・強化

海外事業会社の活動



ニュージーランド

Frucor Group
フルコアグループ

┃ 調達先と協力して原材料品質を確保

すべての調達先に対し、従業員対応に関する社会的原則の遵守や、地域の環境方針・規格の遵守を要請しています。フルコアグループが調達するすべての原材料は、当社の品質規格への適合を保証するため、厳格な原材料確認検査ならびに調達先での製造工程検査を受けています。